

令和6年度 第1回（第28回）四国中央市子ども・子育て会議 議事要旨

○ 日 時 令和6年8月2日（金） 13:30～15:45

○ 場 所 四国中央市役所 4階 401会議室

○ 委員出席状況

【出席】

委員長	宮崎 さゆり	(四国中央市民生児童委員協議会)
副委員長	三宅 彩香	(あやか助産院)
委員	大西 誠治	(市民公募)
委員	高橋 紀子	(市民公募)
委員	中西 かふみ	(NPO法人ふれあい)
委員	近藤 裕美	(四国中央市立北保育園長)
委員	藤枝 俊之	(病後児保育ルーム エミリア)
委員	藤川 美江	(育児サークル「リトル☆スター」)
委員	藤中 美咲	(三島東幼稚園 PTA 副会長)
委員	中田 信也	(四国中央地区労働者福祉協議会)
委員	星川 隆志	(四国中央市社会福祉協議会事務局長)
委員	大西 緑	(四国中央市子ども若者発達支援センター長)

【欠席】

委員	土肥 義紹	(学校法人金生幼稚園理事長)
委員	神野 茂	(四国中央市立北金生第一小学校長)
委員	近藤 望	(市 PTA 連合会)

【事務局】

福祉部長	細川 哲郎
こども家庭課長	合田 晃友
こども家庭課	坂田八千代、近藤歩美
保育幼稚園課	高橋健二、篠原穂波

【傍聴者】

0 名

○ 次第

1. 委嘱状等の交付
2. 開会
3. 部長あいさつ
4. 自己紹介
5. 議事

- (1) 令和7年度園児募集について
- (2) こども計画の概要と骨子案について
- (3) アンケート結果報告
- (4) 第2期子ども・子育て支援事業計画の点検及び評価
- (5) 今後の策定スケジュールについて
- (6) その他

6. 閉会

○ 議事内容

次第4. 自己紹介終了

〔事務局〕委員長、副委員長の選任について、推薦や質問があれば挙手をお願いします。

〔委 員〕前任の宮崎委員を委員長、三宅委員を副委員長に推薦します。

〔事務局〕推薦を受けた委員を含め、改めて意見を伺います。

異議なしとのことで、宮崎委員長、三宅副委員長をお願いします。

〔委員長・副委員長〕あいさつ

【議 事】

(1) 令和7年度園児募集について

〔事務局〕 保健推進課より説明

〔委員長〕 質問や意見を伺いたい。

(質問・意見 なし)

(2) こども計画の概要と骨子案について

〔榑ぎょうせい〕 資料1, 資料3説明

〔委員長〕 質問や意見を伺いたい。

(質問・意見)

〔委 員〕 四国中央市の子育て支援で他の計画はあるのか。

〔事務局〕 今あるのは第2期子ども・子育て支援事業計画のみ。

〔委 員〕 こども計画は、子ども関連の原点になるということか。

〔事務局〕 令和5年4月1日にこども基本法が施行されたので、それを包含する形になる。

〔委 員〕 国からのものをそのまま当てはめていくように受け取れるが、四国中央市ならではのオリジナリティを持っていくかをこの会議で作るイメージでよいか。

〔事務局〕 子どもに関しては、障がい児計画や健康づくりの計画等もあるので、それらとの兼ね合いは出てくると思う。

〔委 員〕 各種アンケート調査の配布数は適正か、有効回収率が高いか。

〔事務局〕 子ども・子育て支援事業で行っていたアンケート以外の新たなニーズ調査については、四国中央市として多いか不明な点がある。

〔榑ぎょうせい〕 回収率について、今回は郵送以外のWeb回答も可能。

就学前児童の保護者が60.2%、小学生保護者は50% (郵送)

前回、就学前保護者58.9% (Web回答なし)、小学生保護者は8割以上 (学校経由)

今回回収率の50%（小学生保護者）について統計的には問題ない。

統計は回収率ではなく、回収数が大事。

アンケートは500から1,000の間、800くらいあれば統計的には精度の高い分析が可能と言われる。回収数が1,000でも3,000でも精度は変わらない。

〔委員〕社会福祉協議会で委託を受けている育児等支援ヘルパー派遣事業は、この計画に出てくるのか。地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」に含まれるのか。

〔株ぎょうせい〕第3期子ども・子育て支援事業計画に掲載すべきと国が基本指針として示している項目のみ。ヘルパー派遣事業等は、次世代育成支援の項目に入る可能性がある。事務局と調整する。

〔委員〕子ども関係はいろいろな課が関連しているので、事業の所管がどの部署かが見えると良いと思う。

〔事務局〕反映させるよう検討する。

〔委員〕若者の視点でみると、閉じこもりやひきこもりの人の居場所づくりが大事になってくると思う。実態が拾えているかの考察、例えば国や県との比較をしてどうなのかなど。全数を把握するのが難しいため何か手がかりが出れば有難い。

〔事務局〕検討材料にする。

（3）アンケート調査結果について

〔株ぎょうせい〕資料2より説明

〔委員長〕質問や意見を伺いたい。

（質問・意見）

〔委員〕病児保育について。規模3人まで。保育士、看護師各1名必要。

四国中央市の病気の受け皿としては足りない。あふれた子供たちは園が頑張って受入。病気をうつしあっても仕事へ行く状況でやらざるを得ない環境。

医療の充実、仕事とのバランス、市民の医療に対するニーズ、実態、どのように捉えるか。方向性を示していけるとよい。

〔委員〕アンケート結果が出ているとすると、少子化対策や人口減少対策に向けて具体的な内容が計画に反映できると思ったがこれから出てくるのか。

〔事務局〕フリーアンサーなど参考に方向を詰めていきたい。

〔委員〕親が働くから園が足りない。子どもの熱が下がれば園に預けて仕事に行く、園で病気が増える。他の子にうつさないために、自分の子を完全に看てから園に預ける姿勢もないように思う。

〔委員〕働かないと食べられない、育てられない家庭もある中、園に預けている親が不合格というような意見は語弊があると当事者として思う。

〔委員〕基本的に日本は予想以上に貧しい国になってしまった。その中でどういう形で子ども、保護者を育てていこうかということを考えるのがこの会議と思う。

（4）第2期子ども・子育て支援事業計画の点検及び評価の説明

〔事務局、株ぎょうせい〕資料1より説明

(5) 今後の策定スケジュールについて

〔事務局〕 資料4 説明

〔委 員〕 子どもが生まれたら祝金、母親や園、保育士等を助けること。母親が望むような会議や講演会、勉強会をする。悩みの相談場所、コミュニケーションを持てる場所を作る。そういうことを考えてほしい。

〔事務局〕 祝金が出生数増になっているかどうか、結びついていない所が多い。総合的に色々なことをしながら子育てしやすい地域にしていけないといけない。

〔委 員〕 祝金には多額の費用を要するため、すぐにはできない。何かできることはないかということで、紙おむつの無償化、18歳まで医療費無料をしている。今できることは何があるかということで計画を策定していけないといけない。

〔委 員〕 子育てしている人に援助すべき。

〔委 員〕 紙おむつ以外にも就学後のナップランド支給も助かっている。現物給付も有難い。

〔委 員〕 母親が子供を見る大切さの講義や講演を市はすべき。

〔委 員〕 母親の子育てが大事なこともわかるが、父親が休みやすい環境、父親の育児できる職場を作っていけないといけないと思う。

〔事務局〕 今回の意見も参考に計画を策定していく。

次回は10月29日に実施

議事終了 閉会